

第49回デメンシアカンファレンスを開催

2019年4月23日

4月23日（火）に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第49回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の9施設が参加しました。

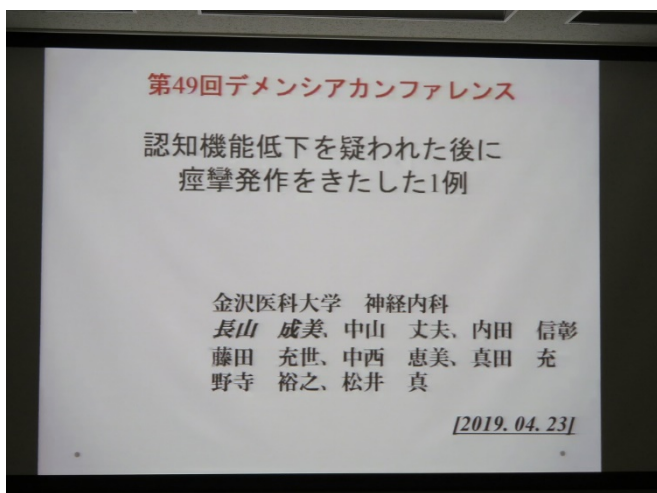
「認知機能低下を疑われた後に痙攣発作をきたした1例」のタイトルで、金沢医科大学からの症例報告で進められ活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子



各会場の様子



症例のスライド



質疑応答の様子

第 49 回デメンシアカンファレンス抄録

「認知機能低下を疑われた後に痙攣発作をきたした 1 例」

発表者：長山成美（金沢医科大学脳神経内科）

司 会：真田 充（金沢医科大学脳神経内科）

【要旨】

症例は 57 歳男性。X-2 年より物忘れ症状が出現。当初経過観察していたが、軽度の道順障害なども加わるため X 年に当科受診となった。初診時、神経学的所見に異常なく、各種画像検査も異常を認めなかった。高次脳機能検査で HDS-R 27 点を示したことから、Mild cognitive impairment (MCI) と診断され、以降経過観察されていた。

X+4 年 3 月、夜間に全身性痙攣発作が出現し、当科再診となった。再診時、痙攣発作が消失していたこともあり、神経学的所見ならびに一般身体所見に異常は認めなかった。頭部 MRI・脳波上も異常なく、初回発作であったことから、薬物療法は導入せず、定期外来通院下で経過観察となった。

X+4 年 8 月、めまい症状にて当院入院中に約 10 分間持続する全身性痙攣発作が出現。2 回目の発作であったことから、てんかん発作としてバルプロ酸 600mg/日を開始した。以降の経過は良好で同様の発作は認められず、X+11 年時点での高次脳機能検査で HDS-R 30 点を示し、てんかん診療とともに認知機能低下も改善した。

高齢者のてんかん有病率は 1～2%を示し、近年増加傾向を示している。基礎疾患として脳血管障害や変性疾患、脳腫瘍などが知られているが、認知症も含まれている。特にアルツハイマー型認知症が全体の 50%を占め、てんかんと認知症の鑑別が重要である。

【質問・意見】

質問；てんかん治療とともに道順障害は改善したのか。

回答；明らかな道順障害は認めていないと伺っている。

【コメント】

てんかんの基礎疾患として認知症も想定する必要がある。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)
第49回デメンシアカンファレンス

認知機能低下を疑われた後に 痙攣発作をきたした1例

2019年4月23日(火) 18:30～20:00

担 当 金沢医科大学 神経内科学
対 象 参加施設及びその他の施設の医療関係者(医療系大学の学生含む)
発信元 金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室

会 場 認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所(○…参加者受入可)

- ・金沢大学 医薬保健学域医学類教育棟1階第2講義室
- ・富山大学 附属病院2階カンファレンスルーム2
- ・福井大学 附属病院2階キャンサーボード室
- ・金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室
- ・国立病院機構医王病院 地域研修室
 - ・石川県立高松病院 医局会議室
- ・国立病院機構北陸病院 特殊診療棟2階小会議室
 - ・谷野呉山病院 共通棟1階ミーティング室
- ・魚津緑ヶ丘病院 5階会議室
- ・福井県立すこやかシルバー病院 管理棟2階応接室

申し込み不要

- ・出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入下さい。
- ・教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

お問い合わせ

北陸認プロ運営事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2149 / FAX 076-234-4208

E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp / URL <http://ninpro.jp/>